

## 道東営業部より新年のご挨拶

道東営業部長 森山 淳也

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり厚く御礼申し上げます。

2021年の新型コロナウイルスと世界各地での気象変動による影響・経済の情勢により2022年にも不安な材料を持ち越しています。

昨年10月で新型コロナウイルスの感染防止対策に関する緊急事態宣言が“解除”され、未だ再発の懸念がある状況ですが、少しずつ少しずつ明るい気持ちを持つことが出来るようになってきたと、自分自身に言い聞かせているところです。

昨シーズンの自給飼料の生産状況において1番牧草は比較的良質なものが確保できていると捉えていますが、オホーツク地域では高温干ばつの被害で2番草やデンコーンの収量に影響が出ました。また台風襲来が

## 道央営業部より新年のご挨拶

道央営業部長 浅沼 康之

新年あけましておめでとうございます。日頃より弊社製・商品に対し格別のご高配とご愛顧を賜り心より厚く御礼申し上げます。2021年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染防止への対応と、混乱した世界物流に翻弄された年でありました。日本はワクチン接種率の上昇にともない感染者数は減少傾向ではありますが、物流のハブ港では港湾での荷役労働者が不足していることによる物流の遅延が続いており、輸入飼料や種子の到着に遅れが発生し、供給に大きな支障が発生しました。

また中国が経済活動の回復とともに大量の飼料を輸入したことにより、原料価格が高騰し、配合飼料価格は昨年と比較してトン当たり10,000円以上の値上げとなり、生乳生産に大きな影響を与えました。

一方、道内の生乳生産は順調に増加しておりますが、新型コロナウイルスの影響による外出自粛の影響から業務用需要の回復は遅れており、加工原料仕向けの生乳が増加し、バター、脱脂粉乳の在庫が増加しており、出口対策と増産抑制への協力が避けられない状

無い1年となりました。

海外からの購入飼料および原料の価格は当面の間、高止まりで推移すると思われる中、自給飼料の品質と量をいかに確保するかが2022年の皆様の経営に重要であると推察いたします。

道東地域の広い大地を活かし自然環境と調和を保ちつつ農業経営を行うためには、どのような種子や飼料などの生産資材、そして情報が必要なのか、お客様や関係機関の方々にもご支援いただきながら、当社として何が出来るのか、何がお役に立てるのか、社是である「技術と誠意で農業奉公」を念頭に一層の取り組みが必要と感じる次第です。

過去にタイプA・Bの選択制を導入した生乳計画生産が2006年（平成18年）と16年前のことでした。当時も先行きが不安な時世でありました。今と比較すべきではありませんが、困難に立ち向かうには一人では無く、たくさんの人との関わり合いが必要と感じています。最後に、2022年・令和4年が皆様におかれましても、平穏な日々が早く訪れることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

況となりました。

昨年は春先の低温と降水量不足により自給飼料の不足が問題となりました。乳牛の主食は粗飼料であり、粗飼料が不足することにより飼料費の増加、乳牛の健康や繁殖成績維持など多くの課題に向き合わなければなりません。自然の力には逆らえませんが、影響を小さくすることは草地の植生改善を継続することで可能と考えます。草地更新直後の牧草は、収量も多く乳牛の嗜好性も抜群です。植生改善を断続的に実施することで、乳牛にとって重要な粗飼料を安定的に確保することができ、酪農経営を持続的に安定させる方法と考えます。

世界経済の先行きは不透明であり、食料を輸入に頼れない時代になるかもしれません。改めて自給飼料を見直し、安心安全な粗飼料を基盤とした「酪農経営」が、限りある地球資源を循環させ、自然の力を生かしながら安定的に生乳生産を持続できる方法と思われるます。

弊社は、生産者の皆様と密着した製・商品並びに生産技術を開発し、皆さまにご提案させていただくことで酪農経営への支援を行ってまいりたいと考えております。本年も農作業の無事とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。